News Release



平成25年 8月8日

平成25年度「地(知)の拠点整備事業(COC)」の採択について

このたび、文部科学省から「地(知)の拠点整備事業(COC)」の選定結果が発表され、本学の申請が採択されました。本学の事業概要は、下記のとおりです。文部科学省の事業採択に関する公表は、下記URLをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/coc/

記

事業名称:「自治体連携による瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備」

連携自治体名:香川県、高松市、丸亀市、三豊市、東かがわ市、観音寺市、三木町、宇多津町

概要: 香川県には人口減少や高齢化が進む中で、定住促進、観光振興、商店街振興、離島振興、 コミュニティ活性化など様々な地域課題があることから、香川大学は、自治体と連携し、学生の 視点を活かしながら地域活性化策の検討と地域での実践活動を行っていくことで地域再生を 図る。

この地域活性化の取組を「瀬戸内地域活性化プロジェクト」として体系的に推進していくこととし、自治体から継続的な財政支援を受けることで、地(知)の拠点としての香川大学を核とした地域連携事業を継続的に実施できるシステムを構築する。

教育では、カリキュラム改革により全学共通科目に地域実践活動を行いながら地域活性化 策に取組むプロジェクト型授業を新設し、1年から4年次まで受講できるようにする。

研究では、希少糖等の関連事業における新産業創出プログラムの推進と、ものづくり人材創出拠点の形成を担う。

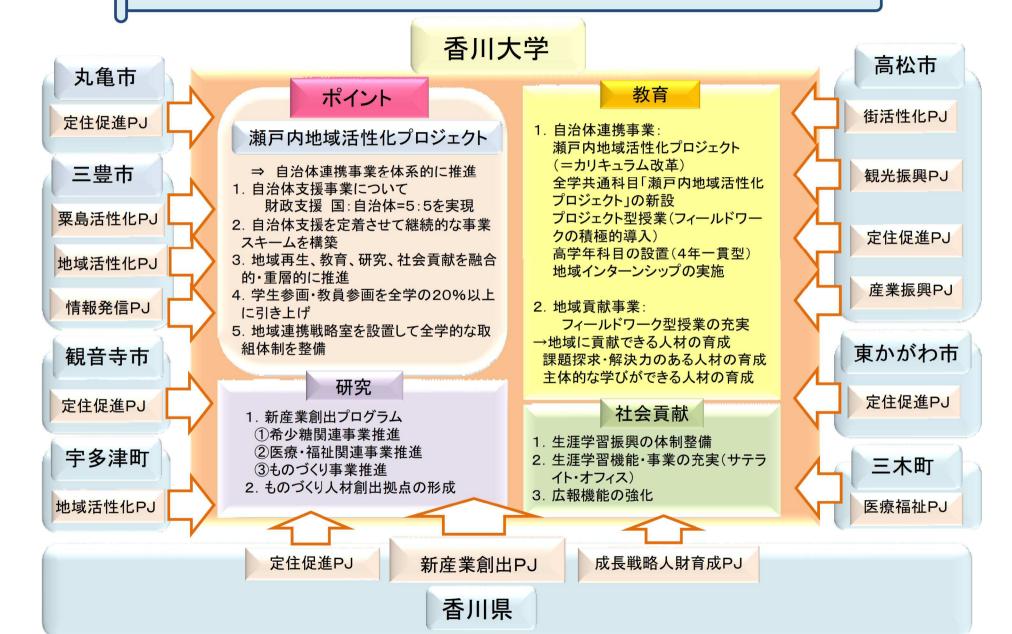
社会貢献では、サテライトオフィスなど地域の生涯学習拠点として体制の整備を図る。



問い合わせ先

香川大学学術室研究協力グループ 石田 TEL:087-832-1314 FAX:087-832-1319 E-mail:sangaku4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

自治体連携による瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備



香川大学COC事業の特徴

- 1. 瀬戸内地域活性化プロジェクトによる地域課題への対処
- ◎自治体連携事業を体系的に推進して様々な地域ニーズに対応。
- ◎全学部の学生が参画できるプロジェクトチームを設置(現在113名)。
- ◎学生が地域での実体験を通じて学ぶプロジェクト型の授業を創設。
- 2. 明確な自治体の財政支援
- ◎財政負担について、国:自治体=5:5を実現。
- ◎地域活性化の取組と政策提言で自治体支援を定着させる。
- ◎COCの継続的な推進の財源スキームを構築。

玉

自治体

- 3. 地域活性化のための特別なシーズ
- ◎地域活性化を目的としたMBAの大学院地域マネジメント研究科による 地域公共政策に関する特別なシーズを活かす。
- ◎同研究科に自治体との調整を一元化することで総合調整が可能に。

瀬戸内地域活性化プロジェクト[事例]

離島振興・街の活性化・定住促進対策などの地域課題にチームで対処していく

粟島活性化PJ

三豊市

離島振興

高松市 街活性化PJ

商店街振興

【地域課題】 人口減少 🚽 高齢化

【対処策】

瀬戸内国際芸術祭 📩 を活かした交流人口 の増加

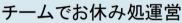
【地域目標】 アートを活かした 長期滞在 · 人口 定着

【地域課題】 商店街にもっと 若者が出向いて 活気ある街に

【対処策】 若者が集まり賑わ うイベントの開催 🗘 情報誌の発刊 商店構成の分析など構成や商品で対応

【地域目標】 若者が集い賑わう 街に 商店街の側も商店













地域活性化PJ

宇多津町

景観づくり

定住促進PJ

【地域課題】

人口減少と

急速に進展

高齢化が

東かがわ市

過疎対策

【地域課題】 新都市と古町 の融合的発展

【対処策】

古町の魅力を引き 出すイベントを開催 街並みについても提言

【地域目標】 和風の景観で 活気のある街に

【対処策】

大学生が地域の お祭りを考案 コミュニティーに参画 働き暮らせる街に 定住する条件を提言

【地域目標】 大学入学や就職で の人口流出を防ぎ



